

合同会社るくーる

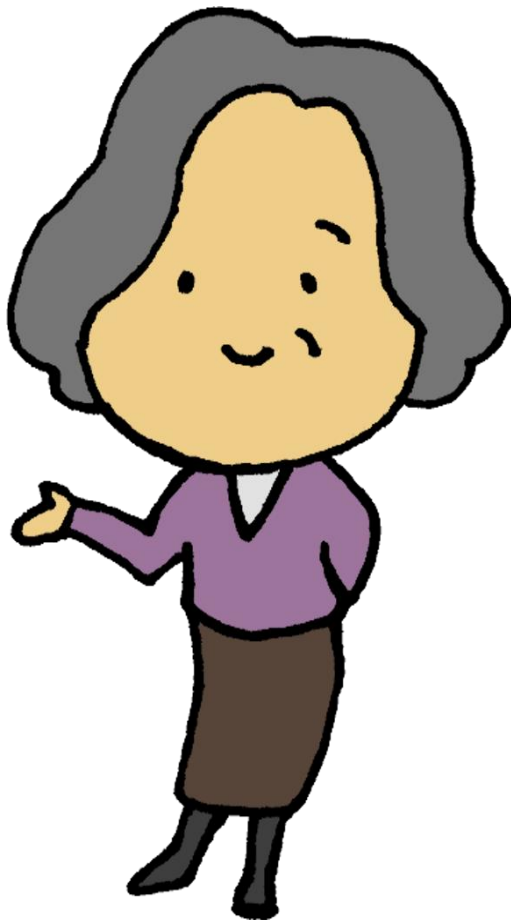
居宅介護支援事業所 心の音

主任介護支援専門員 畠中貴憲

「認知症状ではなく、その人を支える」

～あなたは専門職として「認知症状」を支えてくれているのですか？
認知症状を持ってしまった「私」を支えてくれているのですか？～

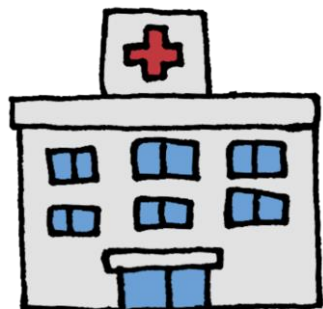
私は、認知症状がある高齢者です。



私は認知症状はありながらも、母から譲り受けた自宅
で現在1人で暮らしをしている
82歳の女性です。

私が、介護保険サービスを利用してから
今日、現在に至るまでの私の
「暮らし」をお話します。

介護サービスとの出会い



私は、令和2年8月に自宅で脱水で倒れているところを包括職員に見つけてもらい入院となりました。

この時は、福岡に住む1人息子の夫婦が帰郷し退院の手伝いをしてくれました。

自宅に帰った日、息子が段取りをしたと思われる、ケアマネ、地域包括支援センター職員、定期巡回の職員が自宅に来ました。

私の知らない人たちと息子夫婦が話している中、私は黙って布団の中に入っていました。

母から譲り受けた家で生活再開した時の私の暮らし



家に戻った私は、お仕事（通所介護）に週3回、地域の仕事（サロン）に週1回行くようになった。また、定期巡回の職員も毎日訪問をしてくれて、血圧、体温、脈拍、血中酸素濃度を測ってくれたり、エアコンのON・OFFの確認や調節をしたりと、気遣ってくれるようになりました。

そうそう食事は、毎日、お弁当が届くので（民間の配食サービス）、それを食べていましたが、、残すことが多かった気がします。

そのうち、お弁当はやめて歩いて50mぐらいの所にある、昔から馴染みのあるスーパーに毎日、自分で買い物に行って惣菜を買うようになりました。

【エピソード①】

【注目エピソード①】

私を襲う不安も・・・。 そして、電話とカレンダー。



私が、週4回のお仕事（通所介護、サロン）に行き楽しさを感じだした頃、家にいてボーっとしていると、色々な事を考えだし不安から頭がゴチャゴチャしてきていました。「もっとお仕事（通所介護、サロン）がしたい！お仕事（通所介護、サロン）の日はいつだったか？」・・・が思い出せなくなり

私が昔から書いてきた電話帳の連絡先に、お仕事（通所介護、サロン）以外の日は連絡するようになりました。お仕事の日を、確認するために...

私が、お仕事をしたかった理由...。それは、お金を稼いで息子にお小遣いをあげたい...という親心からでした。あとからですが、ケアマネには「本当は私が息子にお金をあげないといけないのに、家庭がある息子から私がお金をもらっている。情けない」との心の内をあかしました。

【注目エピソード①】

私を襲う不安も・・・そして、電話とカレンダー。



ある時、ケアマネはカレンダーを持ってきて、月1回の訪問のたびに、お仕事（デイサービス、サロン）の日を書くようになりました。

そして、カレンダーの上の方に顔写真と名前と連絡先も記入されてました。

私が、困った時に連絡ができるように。また私が電話している相手の名前と顔が一致するように...だと思います。

私は、ケアマネが書いたこのカレンダーの電話番号に連絡するようになりました。

1人でいると不安で...お仕事（デイサービス、サロン）以外の日は、1日10回以上電話する事もありました。

私が馴染んできたはずだった人からの、、、警察へクレーム



そんなある日の事、

私は、昔働いていた職場によく電話をかけていました。ちゃんと話せば、また、働かせてもらえるのではないかと。との思いで。

迷惑だったのでしょうね。警察署の生活安全課にクレームとして連絡が入ってしまいました。

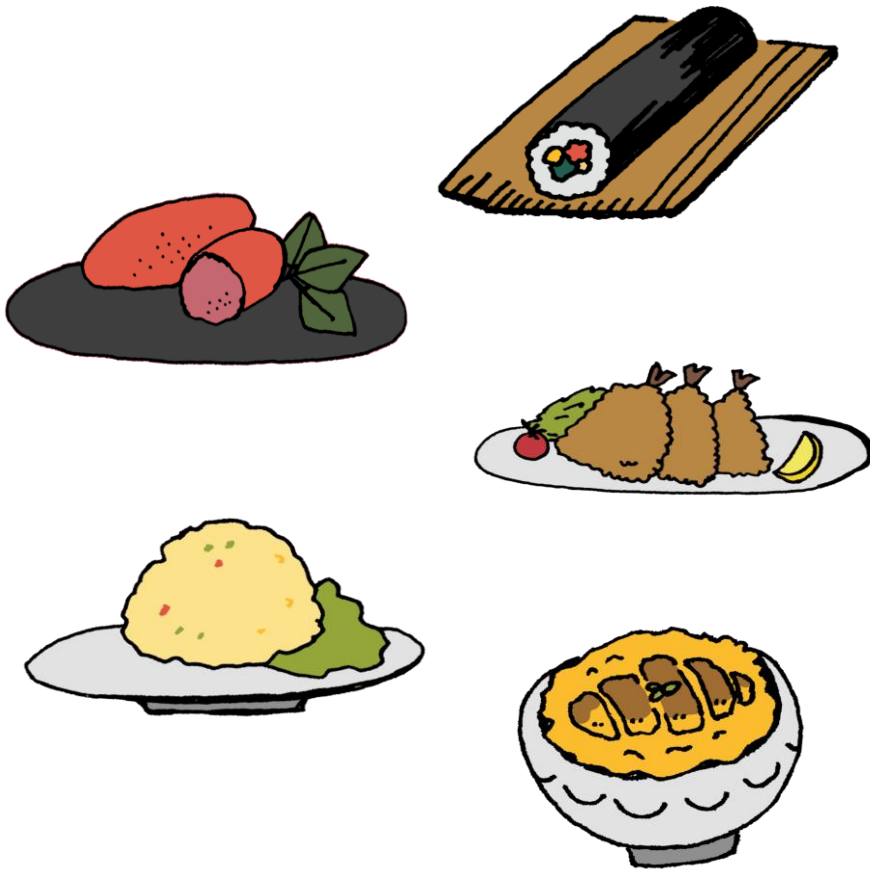
生活安全課からケアマネに連絡が入り、警察署で、私の暮らし、私を支えてくれている介護サービスの事業所や職員を全て説明したみたいで、結果、昔、私が馴染んだ職場の連絡先を電話帳から消すことで納得する形になったみたいです。

そのあとケアマネが息子に連絡をし、息子の帰郷時に私の電話帳から繋がりが1人消されていきました。

【エピソード②】

【注目エピソード②】

スーパー側にとっての便利さ、コロナ、
社会のエコが招いた、私にとっての不便さ



先程お話したように、私は配食サービスはやめて、毎日、昔から行き慣れた近所のスーパーに惣菜を買いに出かけています。私は、昔は仕事を頑張っていたので家で料理をする事がほとんどなく、スーパーで惣菜を購入して食べるのが長年の習慣でした。

その日、食べたい物を自分で選んで食べられるので。

【注目エピソード②】

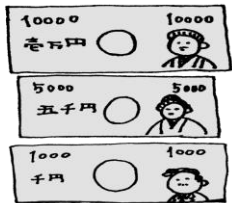
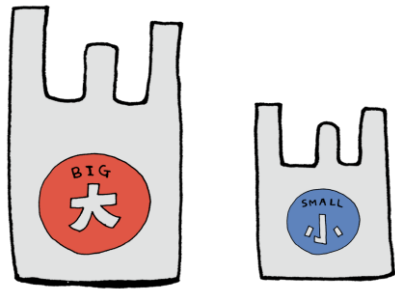
スーパー側にとっての便利さ、コロナ、 社会のエコが招いた、私にとっての不便さ

そんなある日の事・・・

私は、いつもの馴染んだスーパーで買い物をしレジに並んでいました。

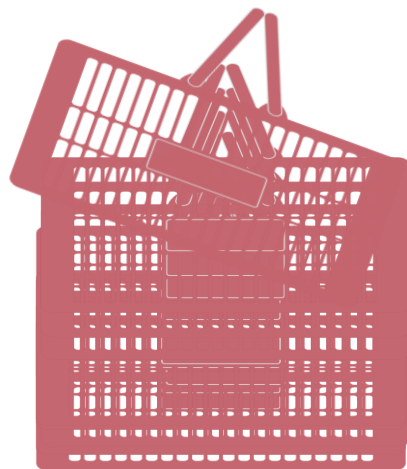
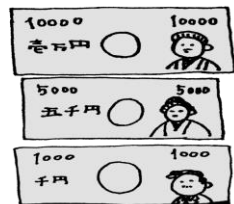
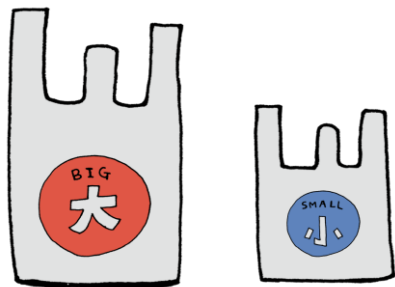
ところが、レジで商品をスキャンする場所、お金を支払う場所が分かれているではありませんか？そのうえ、商品をスキャンする場所には店員さんがいて、その先2～3m先にある支払いをする機械の場所には店員さんがいない・・・。レジ袋が有料化になっている事もわからないΣ(￣□￣|||)がーッ。

機械での精算にも戸惑う私は、店員さんからの支払いの催促に興奮しながら対応することもありました。



【注目エピソード②】

スーパー側にとっての便利さ、コロナ、 社会のエコが招いた、私にとっての不便さ



私は、レジ袋が有料化になっている事もわからないΣ(□□)がー。・・・とさきほどお伝えしましたが、では、どうやって私は買った品物を持って帰っていたのでしょうか？

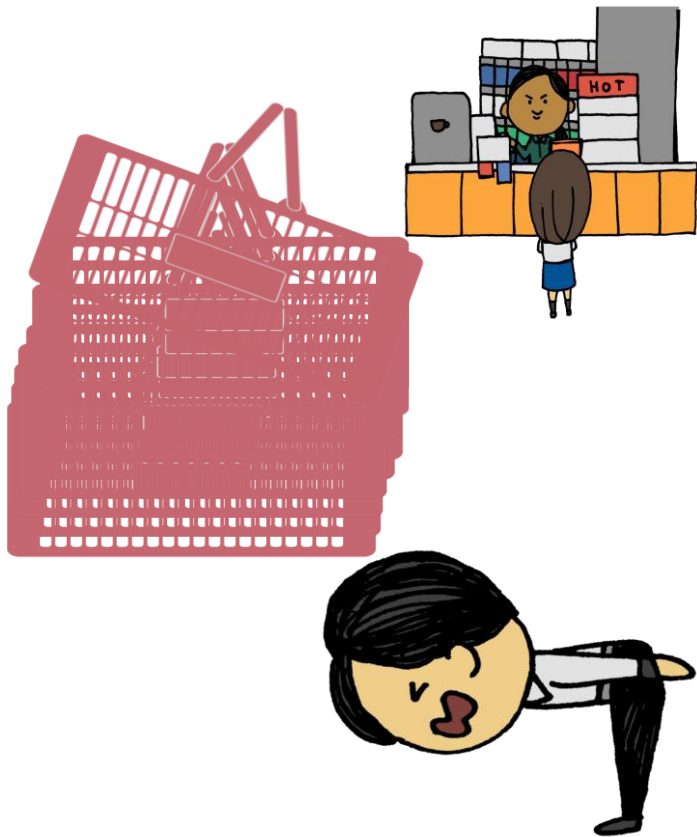
買った商品を買物かごのまま、毎日、持って帰っていました。悪気は全くないのですよ。

毎日、訪問してくれる定期巡回の職員が私の自宅にあるスーパーのかごの多さに気付き、ケアマネに報告が이었습니다。

毎日の事なので、全部で60カゴぐらいは自宅内の至る所にあつた気がします。

【注目エピソード②】

スーパー側にとっての便利さ、コロナ、 社会のエコが招いた、私にとっての不便さ



私は、20カゴぐらいを抱えたケアマネと一緒にスーパーに行きました。

私と一緒にスーパーの店長に挨拶とカゴの返却を目的に。

ケアマネが店長と話しをしている間、私はいつものように買い物をしていました。

ケアマネは、スーパーの店長に自身の連絡先を伝えたいです。それ以降、ケアマネが月に2回訪問するようになり、私の自宅に溜まっていくスーパーのカゴを返却しに行ってくれるようになりました。

スーパー側にも事情があって、コロナも流行っていたため消毒洗浄をしないといけなかったみたいです。そのため、カゴの洗浄日前にはスーパーの店長からケアマネに連絡が入っていたみたいです。

反面、毎回20カゴぐらいを抱えて持っていくケアマネに恥ずかしさも感じ「そんなに持って行かなくてもいいんじゃない？」と伝えたこともありました。

だって・・・私が盗ったみたいで嫌じゃないですか？

そうそう、息子が帰郷時には息子とケアマネが店長に挨拶しに行ってることもありましたよ。

【注目エピソード②】

スーパー側にとっての便利さ、コロナ、 社会のエコが招いた、私にとっての不便さ



スーパーに関しては、もう一つエピソードがあります。

さきほど、お話しした精算機の問題です。

機械での支払い精算となってから、機械操作がわかる時とわからない時があるのです。このため、支払いをせず商品を持ち帰ったことが幾度かありました。何故分かったのかって？監視カメラに写っていました。そのたびに、ケアマネと一緒に未払いの精算をしにスーパーへ行きました。

くれぐれもですが...私には、悪気はないんですよ

ケアマネがスーパー側に「私が買い物の支払い時は店員さんが着けないのか？」交渉をしましたが、日中は正社員、夕方はアルバイトを雇用しているため周知ができない、夕方は買い物客が多いため私への対応が難しい...と言われたみたいです。

反対に、ケアマネはスーパー側から「時間指定で買い物は出来ないのか？誰か一緒に買い物に来ることは出来ないのか？」と尋ねられたみたいで、買い物に行くのに時間を決めて買い物に行く人はいない事・・・を伝えたいみたいです。

私の買い物に対しての工夫について折り合いがなかなかつかず、私のスーパーへの出入り禁止は時間の問題になっていたみたいです。

【注目エピソード②】

スーパー側にとっての便利さ、コロナ、 社会のエコが招いた、私にとっての不便さ

では・・・私の現在は？と言いますと、今までどおりに馴染んだスーパーで毎日、買い物をしています。

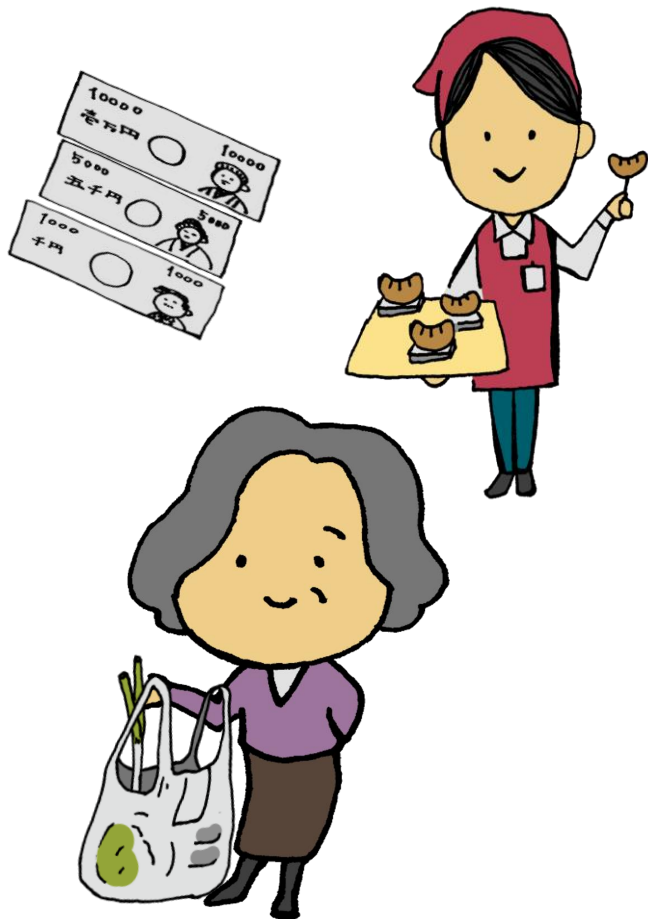
今年に入って、スーパーの店長、副店長が替わった事、偶然にも副店長が私のケアマネの同僚の知人でケアマネが挨拶しに行っている事。そのような事が影響して、私は買い物を続けられています。

新しい副店長にケアマネが言われたみたいです。

何かあった時に連絡が着く先がある事、何かあった時にスーパーに出向いてくれる人がいるだけでも、ありがたい・・・ってね。

精算に関して、店長、副店長が替わってからはスーパー側が私に対し気遣ってくれるようになり、支払い時にはいつもスーパーの店員さんが見守ってくれている気がします。

カゴに関しては、ケアマネと息子とスーパーで話をし、毎回、買い物のたびに袋を自動的につけてもらう事（購入）になり、このおかげでカゴを持って帰る事はなくなりましたよ。



【エピソード③】

【注目エピソード③】 お金が・・・ない



私は、お札を使っの買い物が増えるようになりました。そのため私の財布にはたくさんの小銭が入ってました。小銭を使い支払うことが難しくなってきたんでしょね〜

また財布の中には、当たり前にお札があると思い買い物をしていました。

そんなある時・・・悲劇が起きました

いつも通り買い物をし支払いをしようとすると、

財布の中にいつも入っているはずの、お金、お札が・・・無いのです

私は品物を置き店を出ました。向かった先は私の家の斜め先にある昔から付き合いのある近隣者宅です。・・・そうです、お金を借りに。近隣者は、昔から付き合いもあったことから快くお金を貸してくれました。

このことは、近隣者からケアマネに連絡が行きました。

何故、近隣者はケアマネの連絡先が分かったのでしょうか？

【注目エピソード③】 お金が・・・ない



近隣者は、私の家に貼ってあるカレンダーに書かれているケアマネの連絡先、私が持っていたケアマネの名刺を確認し電話連絡を入れた様でした。

そして息子の帰郷時に、ケアマネと息子との2人で返金と挨拶をしに伺った様でした。この時に、息子が私の症状の事の話をしたようでした。

近隣者は、何十年ぶりに会う私の息子の事を覚えていた事もあって「私達も、年を重ねていく。ひょっとしたら、私達もお母様のようになるかもしれない。お互い様なので、これから今まで以上に気かけたり、毎日ではないけど声をかけたりしますね」と言われたみたいで、生活圏内で私を気遣ってくれる人が1人増えました。他の住民の方にも私の症状の事は話してくれてる感じでした。

そうそう、、、今は特にですが、財布の中のお金の所持金を自分で把握する事が難しくなっている私ですが、どうやって確認が出来ていると思いますか？

【注目エピソード③】 お金が・・・ない



息子が仕送りをしてしてくれているのですが・・・どのようにして、お財布内にお金が入っていくのか？方法をお伝えしますね。

①まず、私の財布内の所持金の確認はケアマネ（モニタリング時）と定期巡回の職員と一緒に確認します。

②財布内の所持金を写真に撮り息子にラインでメッセージします。

③息子が写真メッセージを確認後、郵便で仕送りをします。

④私は夕方まではお仕事（通所介護）に行っているため、郵便が届く日あたりの夕方に必ず息子から連絡が入り郵便物を確認するように指示があります。

⑤郵便物を確認できたら、その場で財布内にお金を入れるように息子から指示があります。入れるまでは息子との電話は繋がったままです。

この様な形で、私の財布の中にお金が入っていきます。

【注目エピソード③】 お金が・・・ない

					米た時 (無理 のない 範囲で)	
スーパーでの 毎日の買い物や掃除、 洗濯、ゴミ出し、 日用品などの購入、 金銭管理など家庭生活 に困らない生活が できる	R5/9/1 ～ R6/2/29	①洗濯機を回し自宅をあ とにする ②洗濯し終わった洗濯物 を干す ③冷蔵庫内の物の賞味期 限等の確認、生活必需品 の購入、掃除の協力をす る ④火、金曜が燃えるゴミ の日・水曜がプラゴミの 日のため、前日の訪問時 に本人と一緒に捨てに行 く ⑤お財布の中身をケアマ ネと一緒に確認し残金¥ 5000ぐらいで息子様に報 告する 【息子様より財布の中身 確認依頼あり】 ⑥バッグに ポイン トカード (エディーカー ド) を入れて下げ、買い	○ 定期巡回・随 時対応型訪問 介護看護 ○ 通所介護 ○ 居宅介護支援		②月、 水、金 曜③毎 日④月 、火、 木曜⑤ 月2回	R5.9.1～ R6.2.29
			居宅介護支援 事業所 心の音	⑤月2 回 (1 ～15日 の間に 1回/15 日～30 日の間 に1回)		R5.9.1～ R6.2.29
			本人がする事	⑥		R5.9.1～ R6.2.29

2/6

私の財布内の所持金の確認を、息子がケアマネと定期巡回の職員に依頼しています。

そのため、私のケアプランの2表のサービス内容には

「お財布の中身をケアマネと一緒に確認し残金 ¥ 5000ぐらいで息子様に報告する」と記載されており、息子も同意をしています。

このおかげで、財布の中身が少ない時は今でもありますが、

近所に借りに行く事は減りましたよ(￣▽￣)

【エピソード④】

【注目エピソード④】 トイレが詰まった・・・こんなところ には住めない！



ある日の事・・・

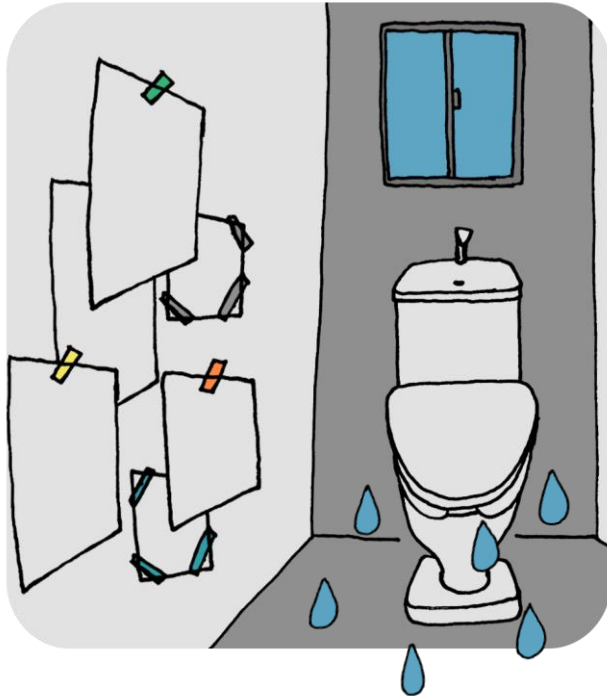
お仕事から自宅に帰りトイレに行くと・・・

トイレが詰まって、トイレから水が溢れているではありませんか？

私は、気が動転しまい息子も顔見知りである近隣宅に行き内容を説明し現場を見てもらいました。

先程の近隣者は、ケアマネに連絡をしケアマネと定期巡回の職員がかけつけトイレ詰まりを直してくれました。

【注目エピソード④】 トイレが詰まった・・・こんなところ には住めない！



トイレを直してもらった2, 3日後・・・。また、悲劇が

お仕事（通所介護）から戻り、トイレに行くと、またトイレが水浸しになっているではありませんか！！

お仕事（通所介護）から戻ってすぐに、定期巡回の職員が来るルールになっていましたので、定期巡回の職員に対応してもらいましたが今回は中々直らなく、ケアマネも来ました。

気が動転し興奮していた私は、定期巡回の職員とケアマネに興奮しながら伝えました。

「こんなところに、住めないわよ！！」・・・と。

結果、その日のうちにトイレは直ったのですが。

・・・ここからです！！

私が、不安に思い、行動を起こしたのは・・・。

【注目エピソード④】 トイレが詰まった・・・こんなところ には住めない！



私は、トイレが水浸しになるという不安から・・・

お通じは、先ほど、話したスーパーのトイレで

おしっこは、自宅の風呂場で

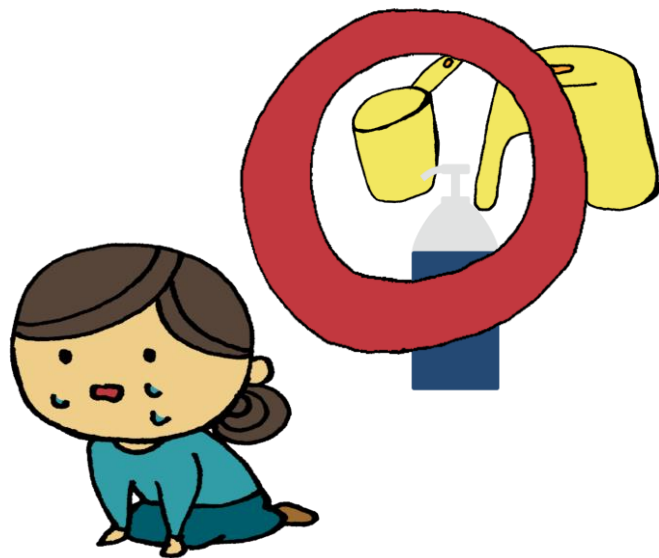
・・・していましたが、福祉職の訪問時に浴室の臭いに気付かれてしまいました。

訪問職員に「トイレで排泄するように」と言葉かけを毎回受けましたが

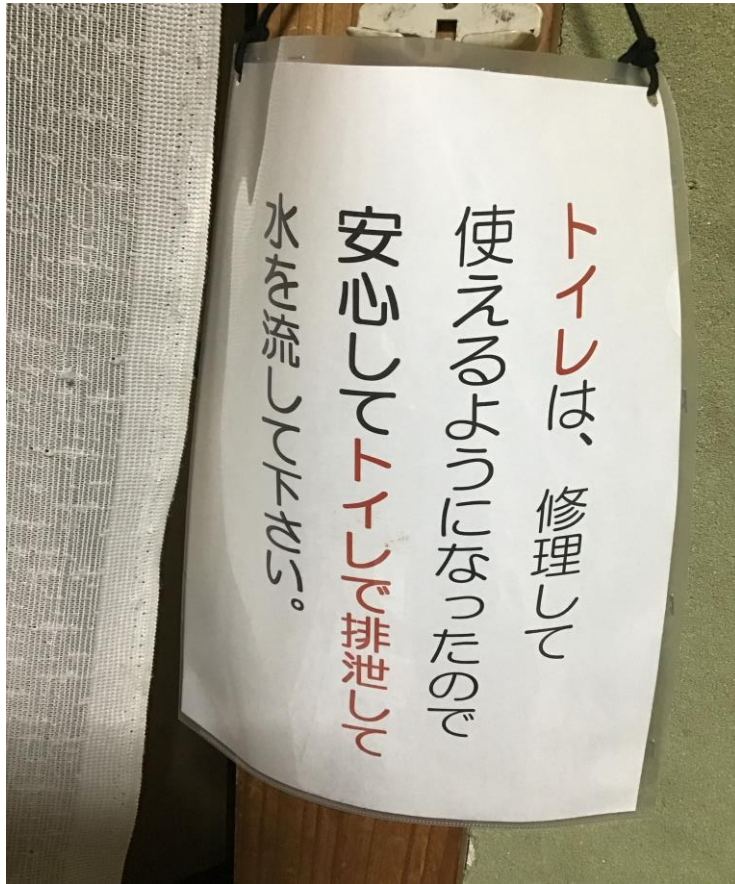
そうは言っても、トイレが水浸しになっている嫌な光景が頭をよぎりトイレで排泄をする気が起きません。そして、トイレが直っているということ自体を私は忘れていたのですから。

しかし、私は、工夫をしてもらった事で自宅でもまたトイレに行くようになりました。

その工夫とは・・・？



【注目エピソード④】 トイレが詰まった・・・こんなところ には住めない！



- ・ 私が過ごす部屋のテレビから、平行した左側、右側にある壁
- ・ 今まで、おしっこをしていた浴室の扉
- ・ 私が歩く廊下の壁

・・・いわゆる、私が生活を送る上で視野に入る目線の位置に、この張り紙がしてあったのです。

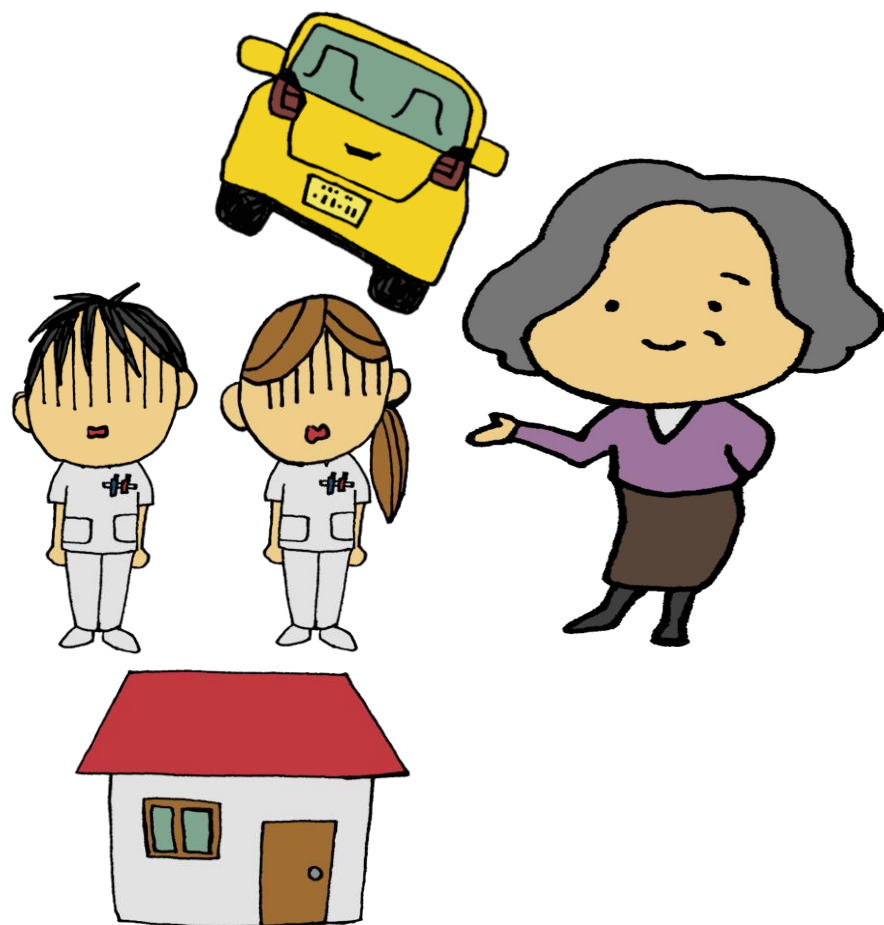
この張り紙が目にとまりだしてからは、近隣スーパーにお通じをしに行く事もなくなり、浴室でおしっこをする事もなくなりました。

そうそうあと1つ私の生活が変わった事があります。

私の家からはティッシュペーパーはなくなり、日常生活でトイレットペーパーを使っていますよ(￣▽￣)。

【エピソード⑤】

【注目エピソード⑤】 外出して・・・周りが、大騒ぎ。 行きはよいよい、帰りがわからん！



私は、以前からタクシーを使ったり歩いて外出することが、ちょちょことありました。
自宅で生活して1日中家に居る…という事もないですよ？

そんなある日の朝の事
私は、その日がお仕事（通所介護）の日とは知らずに朝早く出かけていました。

きっと、お仕事（通所介護）の人が迎えに来て、私が自宅に居なかったからでしょうね～☺
その日の午前中、福祉職の人があわてて私を探したみたいだけど・・・私は、14時過ぎに帰ってきました。

丁度、ケアマネが来たので「何かあったの？」と私は尋ねました。
ケアマネは特に問題視することなく、笑いながら「出かけてたんですね」と応えていました。

そのような事が、今までに3回ぐらいあったぐらいからかな～、エピソードが起きました☺

【注目エピソード⑤】 外出して・・・周りが、大騒ぎ。 行きはよいよい、帰りがわからん！



警察に・・・保護されたのです👮
警察に保護されるに至った経緯はこうです。

- ・その日は、お仕事（通所介護）が休みだったため、出かけていました。
- ・宮崎駅からバスに乗り3丁目で降りる事を運転手さんに伝えました。
- ・バスの運転手さんは橘通3丁目まで走行し下車するように伝えてきました。私は、私が住む地域の3丁目でバスを降ろしてくれるつもりで伝えたのに・・・！
- ・バスの運転手さんとのやりとりのあと橘通3丁目で下車し、親切な一般の方から警察署に連れて行ってもらった。

そして、保護された・・・👮という状況でした。

【注目エピソード⑤】 外出して・・・周りが、大騒ぎ。 行きはよいよい、帰りがわからん！



私が、警察署に保護されて1番に駆けつけてくれたのはお仕事（通所介護）先の職員でした。
私が、警察署に保護されていくところを、たまたま見かけたらしく駆けつけてくれた様子でした。
お仕事先（通所介護）の職員からケアマネにも連絡が入り、ケアマネと息子（電話）、警察とのやりとり後、無事に自宅に帰りました。

が…またまた、出先から戻れない事が起きました。

今度は、家から1Km先にある、大型ショッピングセンターでした。
この時は、私がお店の休憩椅子に座っているところを警察の方が見つけ、バッグの中に入っていたお仕事先（通所介護）の連絡帳を見て電話をし自宅に帰りました。

さすがに2回も帰り方がわからないとなると、息子も心配したようでケアマネに相談をした様子でした。

【注目エピソード⑤】

外出して・・・周りが、大騒ぎ。 行きはよいよい、帰りがわからん！



この一件以降、私のバッグの中に名刺らしきものがぶら下がっています。

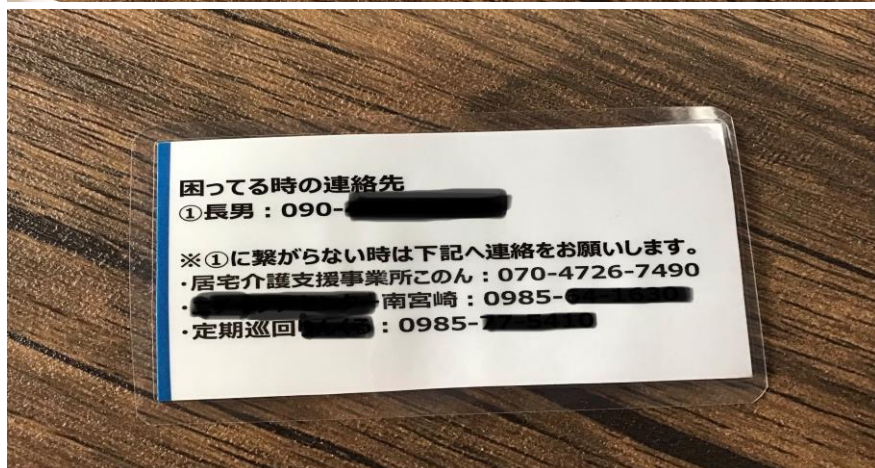
【表面の記入内容】

- ・私が好きな花柄に、私が好きな赤色を基調
- ・私は〇〇（名前）と申します
- ・住まい
- ・このカードを見て下さりありがとうございます。
- ・私が戸惑っていたら、裏面の連絡先に電話をしてけると助かります。

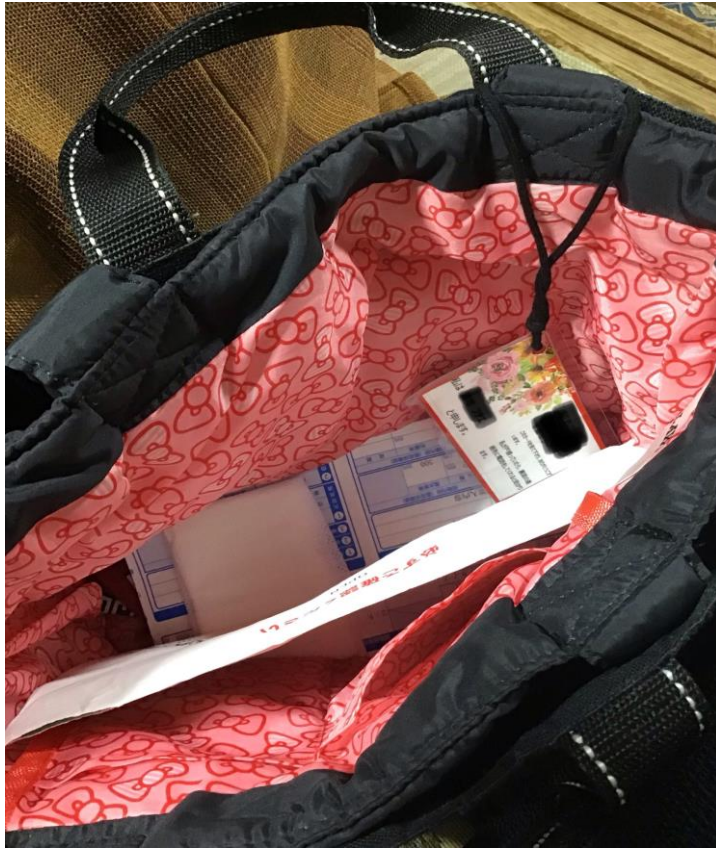
【裏面の記入内容】

- ・困っている時の連絡先
- ①長男
- ②長男に繋がらない時は、介護サービス事業所に連絡が行くように各事業所の連絡先

が記載されたものが、ラミネートで保護されています。



【注目エピソード⑤】 外出して・・・周りが、大騒ぎ。 行きはよいよい、帰りがわからん！

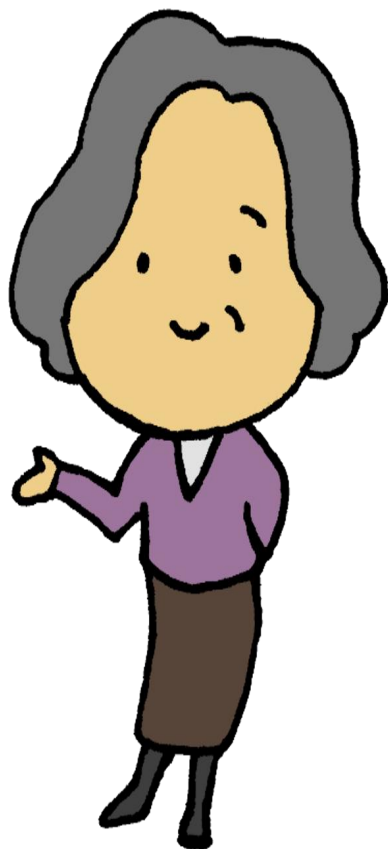


私のバッグにひもで結んである状態です。

このカードが7月ぐらいからバッグにぶら下がってからですが、私が出かけて帰れない事で専門職への電話連絡は1度もないみたいです。🙇

さいごに・・・。

現在の私です。



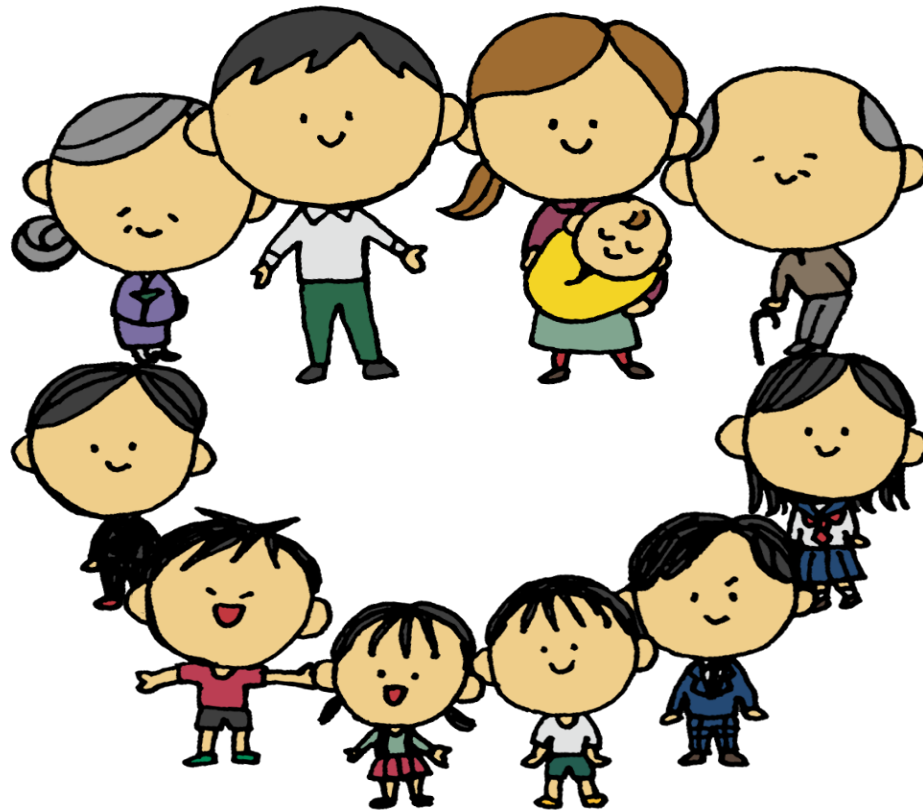
これが私の母ちゃんから譲り受けた家での3年間の「暮らし」になります。

現在は、

- ・ 医師居宅療養管理指導（家に来てくれる医師）
- ・ 薬剤師居宅療養管理指導（家に来てくれる薬剤師、現在中止中）
- ・ 歯科医師、衛生士居宅両管理指導（家に来てくれる歯医者）
- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間365日対応 家を訪問してくれるヘルパー）
- ・ 通所介護（月、水、金曜日）+自費での通所介護（火、木、土曜日）

の介護サービスの利用と、難しくなってきたことは「工夫」と「社会からの気遣い」をしてもらいながら家での「暮らし」を続けています。

✿ その人自身の幸せ ✿



最近、ケアマネに聞かれました。

1人息子の住むところに行きたいと思わないのか？...と。

私は答えました。

「息子も家庭があって私も母ちゃんのこの家がある。だから、行きたいと思わないね」と。

また、ケアマネに聞かれました。

私は、今、自宅で生活している事は幸せなのか？...と。

私は、穏やかな表情で答えました。

「良い事も、悪い事もないから・・・

幸せなんじゃないかな？」と。

※写真の使用については、ご家族より同意を得て使用しています。

暮らしを支えるパートナーとしての役割

自宅の生活を送る上で、リスク中心で目を向けるのではなく

本人の可能性を信じ、在宅生活の可能性を伸ばしてあげる事が大切だと私は感じます。

その方法として難しくなっている生活に対し工夫をしてあげ「出来ない」を「出来る」に近づけてあげる事

本人の途絶えてしまった繋がりを紡いでいき、気遣って支えてくれる人を生活の場面場面の中で増やしていく事

それが、本人の「自宅での暮らし」を支える私たちの役割なのではないでしょうか？

私たちは・・・自宅で・・・「暮らし」をしている

その「人」を見ているのですか？その人の「リスク」を見ているのですか？

そして、私たち自身は自宅でリスクがない生活を送っていますか？

経 歴

【私の名前】畠中 貴憲(はたなかよしかず)

【生年月日】昭和51年1月20日に静岡県に生まれ、5歳の時に宮崎に転居。

【生活史】宮崎商業高校卒業後、歯科技術専門学校での学びを経て30歳まで歯科技工士として働く。

失業保険でヘルパー2級の資格を取得させて頂き、介護の道へ。有料老人ホーム、

特別養護老人ホームで働きながら介護福祉士、ケアマネージャーの資格を取得。

令和元年9月に居宅介護支援事業所 心の音(このん)

令和5年7月に定期巡回・随時対応型訪問介護看護 心の葉(このは)を設立。

現在、ケアマネージャー3人、ケアワーカー3人の仲間と一緒に、語り合いながら毎日、

楽しく利用者ケアをしています。

【趣 味】意外でしょうが・・・読書です。あと温泉に浸かり何も考えない時間を作る事も楽しみの1つです。